記者発表資料

平成２７年５月２５日
ＥＥ東北実行委員会

# 建設事業の新技術展示会、「EE東北’１５」を開催します
## ～平成27年6月3日、4日、夢メッセみやぎにて～

建設事業に係わる**新技術、新工法を一堂に集めて公開する「EE東北’１５」**を開催します。**入場は無料**です。

ＥＥ東北’１５は、**出展者数（３１０）及び出展技術数（８４５）ともに過去最多**となります。

今回は、新技術展示会、新技術プレゼンテーションのほか、新たな企画として、**「UAV（マルチコプター）競技会」を開催**します。

また、今回は、「２０１５建設リサイクル技術発表会・技術展示会」と同時開催になります。

〇開催日時：平成２７年６月３日（水）１０時～１６時３０分
６月４日（木）　９時３０分～１６時

〇開催場所：「夢メッセみやぎ」本館・西館（仙台市宮城野区港３－１－７）
開催期間中、「夢メッセみやぎ」と「多賀城駅（ＪＲ仙石線）」を連絡する無料シャトルバスを運行します。

〇実施内容：①開会式（**６月３日（水）１０時**より **本館屋内展示場入口**にて行います）
②新技術展示会（本館屋内展示場、屋外展示場）
③新技術プレゼンテーション（本館屋内展示場特設ステージ）
④ＵＡＶ（マルチコプター）競技会（**６月４日**のみ、**西館展示場**）
⑤大学関係・橋梁模型・パネルの展示等（本館展示場コンコース）

〇見どころ：　復興の加速化を後押しする新技術や、構造物の耐久性向上、長寿命化、維持管理費の低減など、社会資本のメンテナンスをキーワードとした新技術等が展示されます。

（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】　ＥＥ東北実行委員会事務局（東北地方整備局 東北技術事務所）
東北技術事務所 副所長　狩野武志（かりのたけし）
東北技術事務所 施工調査･技術活用課長　布宮明道（ぬのみやあけみち）
（ＵＡＶ競技会関係）　東北技術事務所 防災･技術課長　佐藤信之（さとうのぶゆき）
住所：多賀城市桜木３丁目６－１　電話０２２－３６５－８０４７

# 建設技術公開「ＥＥ（イーイー）東北’１５（イチゴー）」の概要

## ○キャッチコピー　：　東北の明日（あす）を支える　新技術

○　目　　的

建設事業に係わる新材料・新工法その他、時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と、良質な社会資本の整備を通じて地域の発展に寄与することを目的として、開催します。

※ＥＥとは英語の Engineering　Exhibition（エンジニアリング　エキシビション）の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。平成２年から開催しており、今回で２５回目の実施となります。

○　来場予定者及び見込み数

国及び地方公共団体職員、建設コンサルタント、建設会社、建設資材関連会社、大学生、高校生、一般の方等、来場者１３，０００人を予定。

○　実施内容

| 内　容 | 開催日時 | 開催場所 |
|---|---|---|
| 開会式<br>・開会宣言、主催者あいさつ、来賓祝辞、テープカット | 平成２７年６月３日（水）　10:00～10:20 | 《夢メッセみやぎ》<br>・本館屋内展示場<br>コンコース(受付前) |
| 新技術展示会<br>・出展者数　　３１０<br>・出展技術数　８４５ | 平成２７年６月３日（水）　10:00～16:30<br>平成２７年６月４日（木）　9:30～16:00 | 《夢メッセみやぎ》<br>・本館屋内展示場<br>・屋外展示場 |
| 新技術プレゼンテーション<br>・４０題 | 平成２７年６月３日（水）　11:00～16:15<br>平成２７年６月４日（木）　9:45～15:30 | 《夢メッセみやぎ》<br>・本館屋内展示場<br>特設ステージ |
| ＵＡＶ（マルチコプター）競技会<br>・総合技術部門５チーム<br>・一般参加部門８チーム | 平成２７年６月４日（木）　9:45～16:00 | 《夢メッセみやぎ》<br>・西館展示場 |
| その他の展示等<br>・大学関係展示<br>・高校生が作成した橋梁模型展示<br>・パネル等の展示<br>・就職相談コーナー<br>・地震体験車「ぐらら」の展示 | 平成２７年６月３日（水）　10:00～16:30<br>平成２７年６月４日（木）　9:30～16:00 | 《夢メッセみやぎ》<br>・本館屋内展示場<br>コンコース<br>・地震体験車は屋外展示場（６月４日のみ） |

○　技術分野別出展技術数

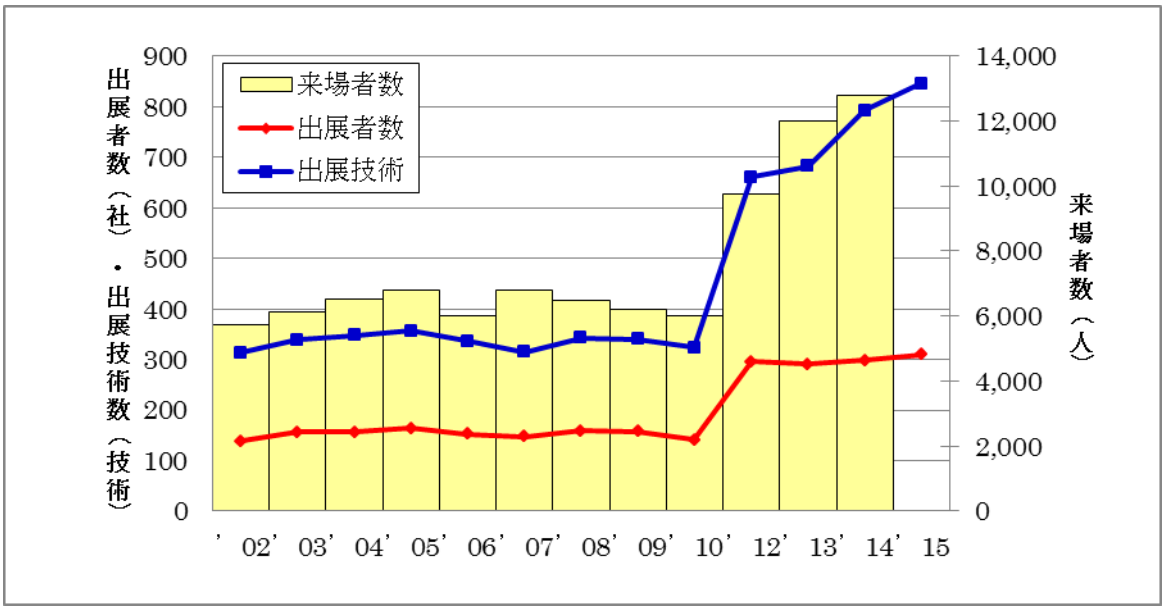
・復旧・復興に関する技術分野　　161 技術（前回 195 技術）
・建設段階の技術分野　　150 技術（前回 145 技術）
・維持管理・予防保全の技術分野　　260 技術（前回 232 技術）
・建設副産物・リサイクル等の技術分野　　47 技術（前回 15 技術）
・防災・安全等の技術分野　　169 技術（前回 152 技術）
・その他共通の技術分野　　57 技術（前回 43 技術）

※「建設副産物・リサイクル等の技術」のエリアは、同時開催の「２０１５建設リサイクル技術発表会・技術展示会」における技術展示の一部という扱いにもなります。

○　プレゼンテーションテーマ別発表数

・復旧・復興に関する技術分野　　8 技術（前回 9 技術）
・建設段階の技術分野　　10 技術（前回 9 技術）
・維持管理・予防保全の技術分野　　14 技術（前回 18 技術）
・防災・安全等の技術分野　　8 技術（前回 4 技術）

○　最近の出展者数、出展技術数、来場者数の推移




○　継続学習制度（ＣＰＤＳ）対象プログラムの認定

目的：ＥＥ東北は建設事業に係わる新技術を公開し、その普及及び技術開発を促進することを目的としています。これはＣＰＤＳにおける技術者の自己研鑽の目的と一致するため、ＥＥ東北をＣＰＤＳ対象プログラムに登録し、技術者の資質向上を図る場として位置づけるものです。

適用：（一社）全国土木施工管理技士連合会　継続学習制度（ＣＰＤＳ）ガイドライン

認定プログラム内容：

登録番号　３００２１４（６月３日）、３００２１５（６月４日）
プログラム名称　建設技術公開「ＥＥ東北’１５」
※開催１日あたり１プログラムとして登録（２日間では２プログラム）

○　主　　催

ＥＥ東北実行委員会（委員長：東北地方整備局　企画部長）

［構成団体名］

一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

○　後　　援

公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

○　「ＥＥ東北’１５」開催におけるポイント

◆ キャッチコピーは、**東北の明日（あす）を支える　新技術**

◆ **出展者数は、過去最多の310社**（前回２９８社）
◆ **出展技術数は、過去最多の845技術**（前回７８２技術）
◆ ＮＥＴＩＳ登録技術３５０技術（前回３７６技術）
◆ **6つの技術分野**ごとに的を絞った見学もできるように、ガイドブック、ガイドマップの配布や、社名板の色分け、ブース配置も工夫しています。
◆ 今回のＥＥ東北は、**「2015建設リサイクル技術発表会・技術展示会」と同時開催**になります。
◆ 土木構造物の点検に無人航空機（ＵＡＶ）を利用しようという試みが加速していることから、ＥＥ東北の新たな企画として、**UAV（マルチコプター）競技会を6月4日（木）に夢メッセみやぎ西館展示場で開催**します。イベント的要素を持ちつつ、ＵＡＶの活用技術を紹介します。
◆ 近年増加している来場者の学生を対象に、新たな試みとして、**就職相談コーナーを設置**します。なお、学生の事前の見学申込み者数は、約１，１００名となっています。
◆ 出展ブースでは、新技術に関する映像紹介やパネル展示のほか、**実際の重機、製品などの実物、模型、素材を交えて、建設技術を紹介します。**
◆ 東日本大震災からの復興が山場を迎えている中で、復興の加速化を後押しする建設技術である、**「復旧・復興に関する技術」が、161技術**展示されます（前回の同分野における技術数は、１９５技術）。復興の加速化を後押しする建設技術の例として、除染技術、少ない技能労働者で施工が可能なコンクリート二次製品を活用した技術など。
◆ 社会資本の維持管理・更新に係る問題が顕在化している昨今の状況を反映し、インフラの老朽化対策として**「維持管理・予防保全の技術分野」が最も多く展示**されます。ロボットを活用した点検技術や非破壊で行うインフラ点検技術など、**260技術**展示されます（前回の同分野における技術数は、２３２技術）。点検技術の例として、橋梁点検ロボットカメラ、３次元地中レーダー装置、トンネル覆工点検システム、ＵＡＶ（マルチコプター）など。
◆ 「２０１５建設リサイクル技術発表会・技術展示会」と同時開催であることから、**「建設副産物・リサイクル等の技術」が47技術**展示されます（前回の同分野の技術数は１５技術）。
◆ 大規模化・激甚化する水害・土砂災害や大規模地震等に備えるための防災・減災対策として**「防災・安全等の技術」が169技術**展示されます（前回の同分野の技術数は１５２技術）。
◆ 大学関係の展示は、７出展者、９技術が展示されます。
◆ 平成２６年度高校生「橋梁模型」作品発表会の受賞１０作品を展示します。
◆ 「復興道路を支える１０の建設技術」及び「インフラのストック効果」をパネル展示します。
◆ 新技術プレゼンテーションは、重点テーマを「復旧復興」「建設段階」「維持管理・予防保全」「防災安全」と４テーマを定め、屋内展示場特設ステージで１５分の発表を行います。
◆ 新技術プレゼンテーションの４０題の発表のうち、維持管理・予防保全のテーマが１４と最も多くなっています。
◆ ４０題の発表とは別に１２時から３０分間の時間を利用して、**新技術活用（NETIS）への取り組みについて、東北地方整備局から説明（6月3日）**します。
◆ ＥＥ東北’１５の来場者数は、過去最高だった前回開催の１２，８００人を超えるように、チラシ、ポスター、新聞広告、ホームページの活用など広報しています。
◆ 会場内の全景（屋内・屋外）撮影のため、開会式終了後に、係のものがご案内します。
◆ 被災地で開催する**EE東北から新技術・新工法に関する情報を発信することで、復興が大きく加速し、東北地方のさらなる発展に寄与**していければと考えています。

○　ＥＥ東北公式サイト

会場内レイアウト、ガイドブック等は、ＥＥ東北ホームページにてご覧いただけます。
URL　http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/eetohoku/ee15/index.html
また、２０１５建設リサイクル技術発表会・技術展示会も、あわせてご覧ください。
URL　http://www.suishinkaigi.jp/activity/public/technology/new.html

# EE
Engineering Exhibition
# 東北'15
TOHOKU'15

東北の明日を支える新技術

同時開催 2015 建設リサイクル技術発表会・技術展示会

継続学習制度(CPDS)認定プログラム
[(一社)全国土木施工管理技士会連合会認定]






## 新技術展示会
## 新技術プレゼンテーション
## UAV(マルチコプター)競技会(6/4のみ)

# 6月3日(水)-4日(木)

10:00-16:30　　9:30-16:00

## 会場:夢メッセみやぎ (宮城県仙台市宮城野区港3-1-7)

**入場無料**
どなたでもご覧いただけます

**無料シャトルバス運行**
JR仙石線多賀城駅～会場間を
8:10から20分間隔で運行

主　催／EE東北実行委員会(委員長:東北地方整備局 企画部長)

構成団体／一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、東北建設業協会連合会、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北コンクリート製品協会、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、一般社団法人東北地域づくり協会、一般社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

後　援／公益社団法人土木学会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、一般財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、株式会社日本建設新聞社

お問い合わせ先／EE東北実行委員会事務局
〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6番1号　TEL.022-365-8047　FAX.022-365-5938　E-mail tougi@thr.mlit.go.jp

# EE東北'15

**建設事業に係わる新材料・新工法・その他、時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、さらに新たな技術開発の促進と良質な社会資本の整備を通じて地域社会の発展に寄与することを目的として開催します。**

## 新技術展示会

**出展者数 310社　出展技術数 845技術**

| | |
|---|---|
| A 復旧・復興に関する技術分野 | 161技術 |
| B 建設段階の技術分野 | 150技術 |
| C 維持管理・予防保全の技術分野 | 260技術 |
| D 建設副産物・リサイクル等の技術分野 | 47技術 |
| E 防災・安全等の技術分野 | 169技術 |
| F その他共通の技術分野 | 58技術 |

※平成27年3月31日現在

## UAV（マルチコプター）競技会

**UAV（マルチコプター）による競技会を開催します。**

- ●日時：6月4日 9：45～16:00
- ●会場：西館展示場

## 新技術プレゼンテーション

**プレゼンテーションのテーマ**

- 復旧復興 8技術
- 建設段階 10技術
- 維持管理・予防保全 14技術
- 防災安全 8技術

- ●6月3日　11:00～12:00　12:30～16:15
- ●6月4日　9:45～12:00　12:30～15:30
- ●会場：本館屋内展示場特設ステージ

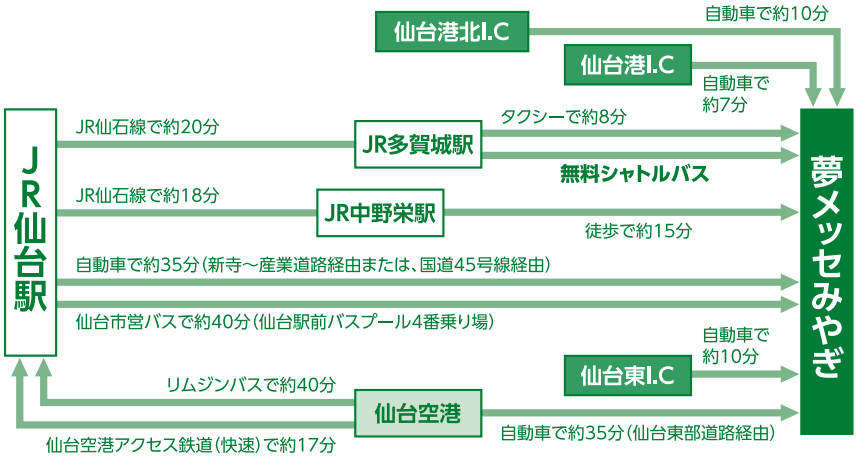
## 特設コーナー

- ●仙台市危機管理室の展示と地震体験車「ぐらら」の体験コーナー
  ※「ぐらら」の展示は6月4日のみとなります。
- ●大学関係研究室の展示
- ●東北地方の高校生が製作した「橋梁模型」作品展示
- ●「復興道路を支える10の建設技術」のパネル展示

## 会場までのアクセス方法

**【JR仙石線多賀城駅～会場間、無料シャトルバス運行】**

- ●JR多賀城駅～会場間を、8時10分から20分間隔で運行します。
- ●駐車場に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関、シャトルバスをご利用ください。
  6月3日：JR多賀城駅 8:10～15:50発、夢メッセ 11:10～17:50発
  6月4日：JR多賀城駅 8:10～15:10発、夢メッセ 11:10～17:30発




### 交通のご案内

